

課題情報シート

課題名：	四国八十八霊場遍路旅休憩場の企画		
施設名：	四国職業能力開発大学校		
課程名：	専門課程	訓練科名：	住居環境科
課題の区分：	総合制作実習課題	課題の形態：	設計・製作

課題の制作・開発目的

(1) 課題実習の前提となる科目または知識、技能・技術

安全衛生、木造施工実習、木造施工図実習、設計・製図

(2) 課題に取り組む推奨段階

建築設計製図、木造施工実習終了後

(3) 課題によって養成する知識、技能・技術

課題を通して、主に企画・設計及び木造施工技術の実践力を身に付けます。

(4) 課題実習の時間と人数

人数：8名

時間：288時間

企画・設計・製作という“ものづくり”の一連の流れを理解し、専門技術の向上を図ることを目的として、四国八十八霊場遍路旅休憩場の企画に取り組みました。

課題の成果概要

今回の企画では四国八十八霊場を巡っているお遍路さんからのアンケートをもとにお遍路さんたちが本当に必要としている設備を設けた休憩所の企画を目指しました。アンケート結果などから当初計画していた宿泊施設ではなく、仮眠のできる休憩所の設計へと計画を変更し、実際の様子をイメージするため、1/5 模型を製作することで、改善点などを知ることができました。(図1：平面プラン、図2：1/5 模型)

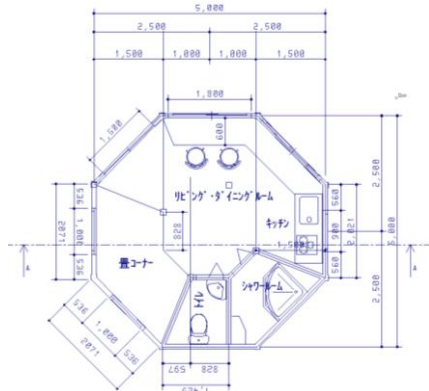


図1 平面プラン



図2 模型 S=1:5

課題制作・開発の訓練ポイントおよび所見

<所見>

この課題における一連の取り組みを通じて、学生の議論や設計、模型製作を行う現場での言動から、学生がものをつくることについての楽しさを感じていることがうかがえました。その議論の結果には、様々の工夫が盛り込まれ、技能・技術上の裏づけが現れており、その製作物についても本課題における専門的な技能・技術の向上がうかがえました。

また、その後の作業についても、率先して思考し、作業を行い、検証することを、学生自らが言いながら、頻繁に意見交換し、製作していく姿が見られました。このことから、技術の向上のほかに、コミュニケーション力や調整能力、リーダーシップ能力の向上につながったと考えます。

養成する能力 (知識、技能・技術)	課題制作・開発のポイント	訓練（指導）ポイント
○目標とする機能を有した設計ができる。 ○精密な模型製作ができる。	◇アンケート調査の有用性を理解させました。	●学生が自主的に提案したり、調査を行ったりできる雰囲気を作ることに努めました。あまり最初から細かく指導せず、なるべく助言程度に留めるようにしました。

課題に関する問い合わせ先

施設名 : 四国職業能力開発大学校
住所 : 〒763-0093
香川県丸亀市郡家町 3202
電話番号 : 0877-24-6290 (代表)
施設 Web アドレス : <http://www.ehdo.go.jp/kagawa/college/>